

ふだいっ子

普代村立普代小学校
校報 2017 No.10
平成 29年 9月 6日 発行
Tel. 0194-35-2550(兼 FAX)

北緯40度の
地球村 東端の国

追手門学院から お客様

8月29日(火)、大阪の追手門学院大学からお客様を迎えました。村の事業「村づくり支援プログラム」のために来村し、^{いよきたたくや}家城拓弥さん、^{ふるやひろたか}古谷拓大さん、^{きさてんたろう}木佐天太郎さん、^{かめやまかほ}亀山果朋さん、^{まつおゆき}松尾有起さんら大学生5名が、子ども達と一緒に一日を過ごしました。大阪で交流した5年生と再開しての外国語活動を振り出しに、3年生算数の丸付け、4年生ソーランの練習、6年生ではゲストティーチャーとしてのアドバイス、業間休みの運動、給食、そして1・2年生や保護者とともに環境作業まで一緒に活動しました。元気で明るく活発な児童に負けず、積極的に参加していただきました。



「5年生、外国語活動で…」



「4年生、ソーラン練習…」



「5年生、給食を一緒に…」



「6年生、質問、大学では…」

大学生の皆さんは、普代村のお祭りや産業等の視察を行いながら村の活性化や「村づくり」のための提言をまとめます。活動を通して普代村のことを好きになり、きっとよい提言ができると期待しています。大阪で…普代で、子ども達との温かな交流となりました。追手門学院の皆さん、どうもありがとうございました。



作品展、たくさんの参観 ありがとうございました



夏休み作品展が8月30日に終わりました。期間中、たくさんの方々に見ていただきました。保護者や地域の方等、83名の方々に参観いただきました。25日の児童朝会では作品発表会が行われ、各学年の代表から作品をもとに解説と感想の発表がありました。「ふだいFAN」でも紹介いただきましたが、発想や工夫ある作品、努力や苦勞が感じられる研究の数々でした。ご参観ありがとうございました。



「児童朝会・作品発表会」



「作品発表会会場にて」

きれいになりました 親子環境作業



29日(火)、親子環境作業が行われました。なかなか手が回らないでいた高い所の窓、校庭周辺の雑草がきれいになりました。おかげさまで、きれいな環境の中で二学期が過ごせます。



「1・2年生親子で、大学生さんも一緒に…」



「親子環境作業の開会行事」

認知症サポーター講習会

30日(休)、4年生「認知症サポーター講習会」を行いました。うねとり荘のみなさんから、テキストをもとに認知症について説明があり、具体的な対処について寸劇を通してわかりやすく解説していただきました。

劇の合間にクイズ形式で、対応の仕方を考えました。三択問題の答えはひとつですが、実際の対応は多様です。子ども達が「やさしく接するために…」という視点で話し合った経験は、サポーターの証「オレンジリング」「ロバさんシール」とともに生かされることと思います。



「うねとり荘の方から講習と実演」



「オレンジリングとシール、考えたり話し合ったりしたことを発表」



「職場対抗サタデーナイトライブ
職員有志で見事優勝！」



ふだいまつり参加

「ふだいまつり」では、それぞれ地域ごとに上組・下組の山車に加わっての参加の他、ステージで発表をしました。「郷土芸能発表会」では、6年生が鶴鳥こども神楽として「綾遊び」を披露しました。

6学年通信からの抜粋ですが、「…中学生の神楽を見たときに驚きました。今の神楽を二、三回やっているぐらいとても長くて、キレッキレでとてもきれいに踊っていました。私たちも中学生になったらあんな踊りをしたいと思います。私はあんなきれいな踊りをしてみたいと思います。」(金子恵美さん)の感想にもあるように、保存会や中学生「七頭舞」とともに舞うことで、伝統ある郷土芸能を継承する役割の大切さを感じるステージ発表となりました。

「ステージ歌謡ショー」には4年生が「よさこいソーラン」を披露しました。アンコールもいただき、精一杯、力を込め踊りました。

会場には、昨年までお世話いただいた先生方も訪れており、声をかけ励ましていただき、子どもたちの成長した姿を見せることができました。

「おまつりでのステージ発表、
鶴鳥こども神楽・綾遊び」→



「4年よさこいソーラン、声援や応援をいただいて発表しました。」